# 21 公益社団法人宮城県トラック協会

## 1 基本情報







所在地	仙台市若林区卸町5-8-3				第 1 位	千円 (	)
代表者	会長 庄子 清一	設 立	昭和26年3月1日		第 2 位 第	千円 (	)
電話	022-238-2721	ファックス	022-238-4336	出資	第 3 位 第	千円 (	)
団体分類	自立支援団体	県主務課	経済商工観光部 商工金融課	ത		千円 (	)
県出資額 •割合	0 千円 ( 0.0% )	ホームページ	recpi, / www.mydcoxyo.or.gp/	況	5 位	千円 (	)
設立目的 (定款等)	貨物自動車運送事業の適正をよって事業の健全な発展を促進 向上を図ることに寄与するとともにすることを目的とする。	<b>Ĺし、もって</b>	事業の社会的・経済的地位の		世別の地間の	千円 (	) 千円

#### 2 主な事業内容

	ナルロ					
	事業名	事業費(単位:千円)			事業内容	
	争未有	令和3年度	令和4年度	令和5年度	争未内台	
事業1	交通安全対策事業	159,115	153,298	140,162	交通事故防止推進のため、交通安全推進の広	
尹禾!	文理女王刈朿事耒 	( 28.9% )	( 28.1% )	( 25.9% )	報、運転者健康対策の実施	
事業2	輸送サービス改善事業	53,482	73,753	92,022	トラック輸送相談、経営安定対策事業、事業者向	
尹未2		( 9.7% )	( 13.5% )	( 17.0% )	け研修会の実施	
事業3	環境対策推進事業	45,158	31,559	29,376	環境保全対策への助成、広報	
サ未り	<sup>'</sup>	( 8.2% )	( 5.8% )	( 5.4% )		
その他	適正化事業、広報事業等	292,836	287,450	280,046	事業者への巡回指導、トラック運送事業のメディ	
の事業	<u></u>	( 53.2% )	( 52.6% )	( 51.7% )	アを活用した広報等	
	全体事業費	550,591	546,060	541,606	指定管理者	

## 3 公社等の公益的使命と県が期待する役割

現在の団体としての公益的使命・役割・目標	県が期待する団体の役割(県施策との関連等)
本団体は、貨物自動車運送事業法に基づき、適正化指導事業・交通安	物流の主要な担い手であるトラック事業者への指導・啓発活
全対策事業・環境エネルギー対策事業・緊急輸送対策事業・労働対策事	動により、質の高い輸送サービスの提供に繋がることを期待す
常・消費者対策事業・広報事業・税制・金融対策事業等を通して、荷主や	<b>వ</b> .
消費者への安定したサービスの維持向上に努める。	また、今後大規模災害が発生した際、物資の担い手として産
	業の復興に寄与することが期待される。

## 4 評価

項目	団体による自己評価	県(主務課)の所見	参考 指標
イ 上記3 への対応	適正化事業は、総合評価D.E評価事業所を主として 680社の巡回を実施した。交通安全対策事業は、関係 行政と連携し、事故防止に力を入れ発生を予防した。 更に広報活動を行いつつ、助成事業を通し、環境、金融対策に努め、自治体からの緊急輸送要請に全件対応した。	当該団体は積極的に公益目的事業に取り組んでおり、特に令和6年能登半島地震の対応では、発災直後から自治体の要請に応じて物資輸送等に貢献した。引き続き各種公益目的事業の実施や、事業者の経営・労務環境の改善のための指導・助言を通じた社会貢献が期待される。	
	事業運営策定実施にあたっては、理事会、各種委員会からの意見、提案、要望を取り入れ、会員とも強い信頼関係の基、事業運営を行った。今後も、会員、消費者共に必要とされる協会として持続可能な事業運営を継続、トラック運送業界全体の更なるボトムアップに努めていく。	現在の組織運営体制を維持しながら、社会環境や消費者ニーズ等による課題に対応可能な体制を確保できるよう、必要な助言を行う。	A
財務の パ 健全性 **1	令和5年度は、前年度に引き続き収支相償達成、全体会計経常増減額、正味財産増減額プラスとなった。 令和6年度も、公益法人としての役割を全うし、併せて健全なる財務体質を保持し活動していく所存である。	黒字決算が継続しており、財務の健全性に関する 状況は良好である。県としても事業の在り方や見直し 等について引き続き助言を行う。	А
総合評価・今後 の方向性と課題	令和5年度も、前年度に続き健全な財務体質を保持しながら、協会運営を実施できたと自己評価している。令和6年度についても、巡回指導、交通事故防止、環境対策、人材確保、経営改善対策を推進し、加えて、2024年問題に対し、トラック運送事業者とともに問題の解決は図っていく。	健全な財務体質を維持しつつ、2024年問題をはじめとした運送業界が抱えるさまざまな課題の解決のため各種事業に精力的に取り組んでいる。県としても、当該団体の組織運営及び財務の健全性の確保のために必要な助言・指導を継続するとともに、物流の持続可能性の確保を通じた地域経済の発展のために当該団体との連携も図っていく。	総合 評価 A

## 5 経営状況 (単位:千円)

		区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減(R5-R4)
	資産合語	+		3,635,039	3,670,015	3,695,501	25,486
		流動資産		240,995	275,816	290,956	15,140
		固定資産		3,394,044	3,394,199	3,404,545	10,346
貸			うち基本財産	3,173,720	3,173,720	3,173,720	0
貸 借	負債合詞	+		33,871	40,616	44,269	3,653
対		流動負債		8,662	20,076	22,289	2,213
照		固定負債		25,209	20,540	21,980	1,440
表			うち長期借入金	0	0	0	0
	正味財產	全合計		3,601,168	3,629,399	3,651,232	21,833
		指定正味財産		0	0	0	0
		一般正味財産		3,601,168	3,629,399	3,651,232	21,833
	経常収益	益		661,695	667,218	666,781	△ 437
		うち事業収益		27,780	28,921	29,517	596
正	経常費用			646,067	638,987	644,948	5,961
味		うち管理費		95,475	92,927	103,341	10,414
財	評価損益等調整前当期経常増減額		15,628	28,231	21,833	△ 6,398	
産増	当期経常増減額		15,628	28,231	21,833	△ 6,398	
増減	経常外収益		0	0	0	0	
計	経常外費用		0	0	0	0	
算	当期経常外増減額		0	0	0	0	
書		<b>设正味財産増</b> 源		15,628	28,231	21,833	△ 6,398
	当期指定	定正味財産増減	掝額	0	0	0	0
		当期正味	財産増減額	15,628	28,231	21,833	△ 6,398
	補助金			449,600	454,500	448,100	△ 6,400
県	委託金	<b>※</b> 2		0	0	0	0
の	負担金			0	0	0	0
財		補助金等合計		449,600	454,500	448,100	△ 6,400
政	総収入 ※3			661,695	667,218	666,781	△ 437
的			- る補助金等割合	67.9%	68.1%	67.2%	
関与	単年度貨			0	0	0	0
7		貸付金残高		0	0	0	0
	損失補償(債務保証)残高			田本式製は、北八草に上口湾。	0 2+4+4 2+4 2	0	0

<sup>※2</sup> 委託金:随意契約によるものが対象。指定管理者制度に係る管理委託料は、非公募により選定された場合が対象。 (なお、非公募で指定管理者となった団体で利用料金収入がある場合は、利用料金収入を含めた額を計上している。)※3 総収入 - 経常収益 + 経常外収益 + 当期指定正味財産増加額【正味財産増減計算書】

#### 6 主な経営指標

<u> </u>					
評価項目	算式等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	増減(R5-R4)
正味財産比率	正味財産合計÷資産合計(総資産)×100	99.1%	98.9%	98.8%	-0.1%
流動比率	流動資産÷流動負債×100	2782.2%	1373.9%	1305.4%	-68.5%
借入金依存度	(長期借入金+短期借入金)÷資産合計(総資産)×100	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経常利益率	当期経常増減額÷経常収益×100	2.4%	4.2%	3.3%	-0.9%
管理費比率	管理費÷経常収益×100	14.4%	13.9%	15.5%	1.6%

## 7 組織・役職員の状況

7 組織•	7 組織・役職員の状況 (人)						
役職員の人数		令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (6月末現在)	令和5年度における 常勤役職員の状況		
役員	常勤 (うち県退職者)	2 ( 0 )	2 ( 0 )	2 ( 0 )	常勤役員		
1又貝	非常勤(うち県退職者)	40 ( 0 )	40 ( 0 )	41 ( 0 )	平均年齡(歳) 63.0		
	常勤職員 (※4)	27	28	28	平均年収 出資割合25%未満		
	プロパー職員	27	28	28	(千円) のため非公開		
職員	県退職者	0	0	0	常勤職員(プロパー)		
柳貝	県派遣職員	0	0	0	平均年齢(歳) 53.0		
	その他の派遣職員	0	0	0	平均年収 出資割合25%未満		
	上記以外の職員(※5)	0	0	0	(千円) のため非公開		
障害者雇	障害者雇用の状況 (※6) 法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数 - 雇用障害者数 - 実雇用率 - % 不足数 -						

<sup>※4</sup> 常勤職員:プロパー職員、県派遣・県退職者、その他の派遣職員(県以外の自治体、民間企業等)を指すもの。

<sup>※5</sup> 上記以外の職員:任期付職員、契約社員、嘱託、非常勤職員、臨時職員及びパート・アルバイト等、常勤職員に該当しない職員の合計を指すもの。 ※6 6月1日現在で、公共職業安定所に提出する『障害者雇用状況報告書』の数値を掲載しているもの。(法定雇用率が課せられている団体のみ記載) 【除外率が適用となる団体は、除外率適用後の常用労働者数に基づき記載】

# 21 公益社団法人宮城県トラック協会

# 1 組織運営の健全性に関する指標

No.	項目		評価内容	評	価
1	経営方針	経営方針を明確にし、職員 に周知しているか。 〔指標〕	①周知している。	1	1
'		<ul><li>✓経営方針の職員等への 周知の有無</li></ul>	②周知していない。	0	'
	組織体制	経営幹部へ民間等経験者を 含む多様な人材を登用して いるか。	①登用している。	1	
		〔指標〕 ✔役員に民間企業等出身者 を登用・配置の有無	②登用していない。	0	1
2		人材育成の取組を行っているか。 「指標」	①行っている。	1	1
		✓人材育成や内部登用、 独自の人材確保の取組の有 無	②行っていない。	0	·
		DX推進に向けた体制を整備しているか。 〔指標〕	①設置又は配置している。	1	0
		✔DXについて検討・推進 を行う部署の設置又は担当者 の配置の有無	②設置又は配置していない。	0	O
	内部統制	必要な業務規程を整備して いるか。	① 8 項目以上整備		
		〔指標〕	②8項目未満整備	0	
		✔右欄に掲げる業務規程等 の整備状況	就業規則		
			役員報酬規程		
			職務分掌規程		
			会計規程		1
			契約規程		ı
			決裁規程		
			給与規程		
			退職手当規程		
3			施設等管理規程		
ľ			業務継続計画(BCP)		
		いるか。 〔指標〕	①公認会計士・税理士による監事(監査役)監査の実施又は監査法人による 監査の実施。	2	
		✓公認会計士・税理士の関与の有無	②公認会計士・税理士による定期的な 指導を受けている。	1	2
			③公認会計士・税理士による関与はない。	0	
		組織内の業務監査体制を整備しているか。 [指標]	①整備している。	1	1
		✓組織内の業務監査体制の整備の有無	②整備していない。	0	· 

No.	項目		評価内容	評	価
	内部統制	適切に情報公開を行っているか。 「指標」 ✓右欄に掲げる資料の団体	①下記のうち、6項目以上(会社法法人・その他の法人は4項目以上)を公開している。	2	
		ホームページにおける公開状況	②下記のうち、6項目未満(会社法法人・その他の法人は4項目未満)を公開している。	1	
			③ホームページで公開していない。	0	
			定款(寄附行為)		
			役員等名簿		
			事業計画書		2
			収支予算書		
			事業(営業)報告書		
			収支計算書		
			貸借対照表		
			損益計算書(正味財産増減計算書)		
3			財産目録		
		コンプライアンスに関する 取組を行っているか。 〔指標〕 ✔右欄に掲げる取組の実施 状況	キャッシュフロー計算書(作成してい る場合)		
			役員の報酬・退職金に関する規定		
			①3項目以上実施している。	2	
			②1~2項目実施している。	(1)	
			③実施していない。	0	
			○コンプライアンスに関する規程を整 備している。		
			○マニュアル等を作成し、職員に配布 する等周知を図っている。		1
			○職員に対する啓発等研修の場を設定している。		
			○公益通報者保護法に基づく公益通報 制度を設けている。		
			〇その他、コンプライアンス経営を充 実するための取組を実施している。		
		<b>合計</b> (12点湍	点)		10

団体による自己評価 (概況、上記指標以外の取組実績、今後の課題・ 対策等)	県(主務課)の所見	参考 指標
事業運営策定実施にあたっては、理事会、各種委員会からの意見、提案、要望を取り入れ、会員とも強い信頼関係の基、事業運営を行った。今後も、会員、消費者共に必要とされる協会として事業運営を継続、トラック運送業界全体の更なるボトムアップを図っていく。	境や消費者ニーズ等による課題に対応可能な体制を確保できるよう、必要な助言を行う。	A

## <参考指標>

#### 合計点が

9~12点の場合: A (概ね良好) 6~ 8点の場合: B (改善の余地あり) 3~ 5点の場合: C (改善措置が必要) 0~ 2点の場合: D (大いに改善措置が必要)

## 2 財務の健全性に関する指標

No.	項目	評価	ī内容	評	価		
	採算性	経常的な活動は赤字傾向にないか。 〔指標〕	① 3 期連続黒字(増加)	3			
		✓損益計算書:経常損益 ✓収支計算書:事業収入-(事業費+管理費)	②当期黒字(増加) 又は 当期赤字(減少)かつ2期黒字(増加)	2	3		
			③当期赤字(減少)かつ1期黒字(増加)	1	3		
			④3期連続赤字(減少)	0			
1		事業活動全体は赤字傾向にないか。 [指標] ✓正味財産増減計算書:正味財産増減	①3期連続黒字(増加)	3			
		額 ✓損益計算書:純利益(損失) ✓収支計算書:収支差額	②当期黒字(増加) 又は 当期赤字(減少)かつ2期黒字(増加)	2	3		
		<b>累積欠損金はないか。</b> 〔指標〕   ✓公益法人会計:正味財産合計-出資等合計   ✓企業会計    :利益剰余金	③当期赤字(減少)かつ1期黒字(増加)	1			
			④3期連続赤字(減少)	0			
			①当期≧0(累積欠損金なし)	2	2		
			②当期<〇(累積欠損金あり)	0			
	安全性	財務は安定しているか。 [指標] 正味財産(自己資本)比率の状況	①当期≧30%	2	2		
		<ul> <li>✓正味財産合計(純資産)÷資産合計×100</li> <li>借入金に依存していないか。</li> <li>〔指標〕借入金依存度の状況</li> <li>✓(短期借入金+長期借入金)÷資産</li> </ul>	②当期<30%	0	۷		
2			①当期≦正味財産(自己資本)比率、借入 金なし	1	1		
		合計×100	②当期>正味財産(自己資本)比率	0			
		十分な支払能力を維持しているか。 〔指標〕流動比率の状況 ✓流動資産÷流動負債×100	①当期≥100%	( <u>-</u> )	1		
		- VIRANI DE LES - MIRANI DE DE L'ALAN	②当期<100%	0			
	<b>合計</b> (12点満点)						

団体による自己評価 (概況、今後の課題・対策等)	県(主務課)の所見	参考 指標
令和5年度は、前年度に引き続き収支相償達成、全体会計経常増減額、正味財産増減額プラスとなった。令和6年度も、公益法人としての役割を全うし、併せて健全なる財務体質を保持し活動していく所存である。	黒字決算が継続しており、財務の健全性に 関する状況は良好である。県としても事業の 在り方や見直し等について引き続き助言を行 う。	A

## <参考指標>

合計点が

10~12点の場合: A (概ね良好) 6~ 9点の場合: B (改善の余地あり) 3~ 5点の場合: C (改善措置が必要) 0~ 2点の場合: D (大いに改善措置が必要)